

2009年1月28日

リビアで太陽光発電技術の教育・研究への支援を開始

三菱商事は、中長期的な観点からの国際貢献施策として、リビアのアル・ファタハ大学（1957年設立のリビア国最大規模の総合大学）と共同で、新エネルギーの実証応用研究の活性化を目的としたプログラムを開始することを決定し、本日、同大学と覚書（MOU）を締結しました。

本プログラムは、同大学が推進する再生可能エネルギー研究活動を支援し、学術研究レベルの向上、クリーン・エネルギーの普及促進への寄与をめざし、当初2年間（2009～2011）、実験機材の供与及び専門家交流を実施するものです。まずは、同大学敷地内に太陽光発電に係る実証実験機材を設置し、データ収集活動から着手します。

リビアは、有数の産油国ですが、新エネルギー技術の導入によるエネルギー供給の多様化をめざしており、なかでも太陽光の活用を最も有望視しています。

当社は今後も、グローバルに展開するネットワークをいかし、それぞれの地域社会の現状やニーズを的確に把握しながら、各拠点において従来取り組んできた国際貢献活動を更に充実させるとともに、新たな施策も積極的に推進していきたいと考えています。

以 上